

令和8年度 年間授業計画

教科：情報 科目：情報Ⅰ 単位数：2

対象学年：第1学年

使用教材	教科書：	最新情報Ⅰ（実教出版）
	補助教材：	30時間でマスター-office2021(実教出版) 情報モラル（数研出版）

教科（ 情報 ）の目標

【知識及び技能】	情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人とのかかわりについての理解を深めるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	様々な事象を情報とその結びつきとしてとらえ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目（ 情報Ⅰ ）の目標

【知識及び技能】	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関りについて理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】	様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参加する態度を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学 期	単元	情報社会	指導事項に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	情報やメディアの特性を理解する。 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報モラルについて理解する。	情報や情報の特徴、メディアの定義を理解し、主体的に情報社会に参画できるようになる	情報や情報の特徴について理解する、様々なメディアの特徴について理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルについて、背景を科学的に捉え、考察する力を身に付ける。	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	情報社会の利点や課題を踏まえ、これからの超スマート社会がどうあるべきについて考え意見を表現することができる。	○	○	○	6
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	これからの情報社会における個人の果たす役割や責任を果たすために何をすべきか考える。	課題配信、予習復習	情報の定義について興味・関心を示している。				
単元	情報社会②	指導事項に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。	問題解決の考え方、手順、手法について理解し、実際の問題解決に応用することができる	問題解決の考え方を理解している。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法を考える力を身に付ける。	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	問題解決の手順について具体的な例を挙げて説明することができる。	○	○	○	6	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
身の回りの問題を情報技術を活用して解決する。	課題配信、予習復習	問題解決の手順について興味・関心を示している。					
単元	デジタル	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
アナログとデジタルの違いと特性を理解する。	デジタルの特徴を理解し、デジタルでの数値や文字の表現の方法が理解できる	アナログとデジタルのそれぞれの特徴や違い相互変換の方法を理解している、表現できる情報の数およびその単位について理解している。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
情報を様々な方法で表現する力を身に付ける。	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	ビット数と表現できる情報の数の関係について理解し目的に応じて適切に使い分けことができる。	○	○	○	6	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
身の回りの物からデジタルの特徴を読み取ろうとする。	課題配信、予習復習	身の回りの物を見比べてデジタル情報の特徴について考察する。					
単元	デジタル②	指導事項に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
情報をデジタルで表現する方法を理解する。	アナログデータとデジタルデータを目的に応じて使い分けられるようになる	2進数、10進数、16進数の相互変換の方法を理解している、補数による負の数の表現、浮動小数点の表し方について理解している。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
目的に応じて情報の表現を適切に使い分けられる力を身に付ける。	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	アナログデータとデジタルデータの違いを理解し目的に応じて適切に使い分けことができる。	○	○	○	6	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
計算の誤差の理由を考える。	課題配信、予習復習	計算結果に誤差が生じることに興味・関心を示している。					

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2 学 期	単元	ネットワーク	指導事項に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			6
	知識及び技能	指導事項	知識・技能	○	○	○	
	情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割を理解する。	ネットワーク仕組みについてプロトコルとその階層の概念を理解する	ネットワークの仕組みについてプロトコルとその階層の概念を理解できる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	目的や状況に応じて情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択する力を身に付ける。	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	ネットワーク上に使われる様々なプロトコルを調べまとめることができる。				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
ネットワークの仕組みやプロトコルを特性に応じて利用する。	課題配信、予習復習	ネットワーク上で使われる仕組みやプロトコルについてメリットデメリットを踏まえ考えることができる。					
単元	ネットワーク②	指導事項に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			6	
知識及び技能	指導事項	知識・技能	○	○	○		
情報セキュリティを確保するための方法や技術を理解する。	ネットワーク上で使われる仕組みやプロトコルについてメリットデメリットを踏まえて考えることができる	情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解している。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
情報システムが提供するサービスの効果的な活用を考える力を身に付ける。	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考察している。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
情報社会に主体的に参画する姿勢をもつ。	課題配信、予習復習	情報セキュリティなどを配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。					
単元	問題解決	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			6	
知識及び技能	指導事項	知識・技能	○	○	○		
オープンデータについて理解する。	オープンデータの活用についてCSVなど様々な形式があることを理解する	オープンデータにはCSVなど様々な形式があることを理解する。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
問題解決に必要なデータを選択する力を身に付ける。	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	必要な情報を得るための適切なグラフを選択することができる。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
問題解決のために積極的にデータを活用する。	課題配信、予習復習	オープンデータを問題解決に活用することに興味、関心を持っている。					
単元	問題解決②	指導事項に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			6	
知識及び技能	指導事項	知識・技能	○	○	○		
収集したデータを加工する技術を身に付ける。	データの収集、オープンデータを問題解決に活用できるようになる	収集したデータを結合し新たな表を作成することができる。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
問題解決に向けて必要なデータを複数選択し活用する力を身に付ける。	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	収集した複数のデータをどのように結合すればよいのか判断できる。					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
問題解決のために活用されてきたデータを知ろうと自ら調べる。	課題配信、予習復習	オープンデータを問題解決に活用することに興味、関心を持っている。					

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3 学 期	単元	情報デザイン	指導事項に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解する。	情報デザインの基礎知識を学び視覚的な表現の工夫ができるようになる	情報デザインの意味について理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考え表現する。	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	コミュニケーションがうまくいかない状況を説明することができる。	○	○	○	4
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	情報の真偽を判断したり、表現について考察する。	課題配信、予習復習	コミュニケーションとメディアについて興味関心をもち情報の真偽を適切に判断してわかりやすく伝達・表現するために自ら改善しようとしている。				
単元	情報デザイン②	指導事項に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解する。	プランニングシート、プレゼンテーションの作成ができるようになる	適切にプランニングシート、プレゼンテーションを作成することができる。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
情報デザインの考え方や方法に基づいて表現する。	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	文章を視覚化したり、レイアウトを工夫して表現することができる。	○	○	○	6	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
	表現した情報を評価し改善する。	課題配信、予習復習	自己評価や相互評価を行い、フィードバックを行って改善しようとしている。				
単元	プログラミング	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
アルゴリズムを表現する手段やプログラミングの基礎技能を身に付ける。	フローチャートからアルゴリズムを理解できるようになる	アルゴリズムの基本とプログラムを理解している。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現できる。	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	様々なプログラミング言語の特徴を説明することができる。	○	○	○	6	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
	アルゴリズムを用いて処理手順を表現しようとする。	課題配信、予習復習	プログラミングを行う上で重要なアルゴリズムに興味、関心をもって取り組んでいる。				
単元	プログラミング②	指導事項に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
情報処理の手順を理解する。	簡単なプログラミングをコーディングできるようになる	フローチャートからアルゴリズムを理解し、アルゴリズムをフローチャートに表すことができる。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
プログラミングによる情報処理の手順をフローチャートで表現できる。	教科書、補助教材、デジタルコンテンツ	設計、記述、実行、試験のプログラムの作成の手順を説明することができる。	○	○	○	6	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
	プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用している。	課題配信、予習復習	基本構造のプログラムの作成に意欲的に取り組んでいる。				
合計							
70							